



## 3年ぶりの・・・

学校長 中山 光恵

### 7月

梅雨が明け、本格的な夏到来です。平年より22日も早い梅雨明けは、統計を取り始めた昭和26年以降最も早く、長さも最短なのだから。

気温の高い日、WGBT(暑さ指数)の高い日も続いています。28日は、WGBT が32.7を記録し、運動中止の危険料となったため、外遊びや屋外での活動を中止としました。これからも水分をこまめに摂るなど、熱中症に気を付けながら教育活動を行ってまいります。

水泳学習が始まりました。3年ぶりです。29日に5年生と4年生が入りましたが、指示をよく聞いて、安全に気を付けて学習をしていました。子どもたちの学習の様子は、学校 HP をご覧ください。

4年生・5年生、個別支援学級の宿泊体験学習も3年ぶりに実施する予定です。(修学旅行も昨年同様実施の予定です) また、PTA による読み聞かせボランティア・図書ボランティアも復活していただきました。コロナ禍前に戻すことは難しいですが、方法を工夫して行うことで、子どもたちの経験を増やし、活動を充実させていきたいです。

7月7日に、スクールゾーン対策協議会を3年ぶりに対面で開催する予定です。「スクールゾーン」は、小学校を中心として概ね半径500m程度を範囲として、特に子どもの交通安全の確保を図る特定地域のことです。スクールゾーンの交通安全対策にあたっては、学校が主体となって、保護者や地域の町内会・自治会、交通安全協会などとともに、関係機関(区役所や警察署、土木事務所)の協力を得ながら「スクールゾーン対策協議会」を運営しています。

毎年、スクールゾーン対策協議会が通学路等の危険個所の調査を行い、要望書としてまとめたものを関係機関に提出して安全対策に関する要望を行います。要望書を受けた関係機関は点検を行い、歩道の整備や横断歩道の設置などのハード対策、交通規制、通学路の一部変更や登下校時の見守り活動の強化などのソフト対策を検討して対策案を作成します。そして、その対策案が、子ども目線で適切・妥当であるか検討して、安全対策内容を決定するのがスクールゾーン対策協議会です。

金沢小スクールゾーン対策協議会では、これまで数々の道路や路面標示の補修に加え、令和元年には長年要望を続けてきた野島の歩者分離式信号機の設置と町屋商店街学校前道路の車両進入禁止時間帯の変更を叶えています。

今年度も地区委員の方々が中心となり、通学路を調査し、写真や地図を添えて要望書を提出していただきました。7月7日はその資料を基に協議会を開き、関係機関から要望について説明をいただき、また町内会・自治会の会長様にもご意見を伺いたいと思っています。

交通安全は、子ども自身が自分の身を守ることが何より大事です。環境を整えるとともに、子ども自身の意識を高めてまいります。ご家庭でも、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。